

みやぎ情報化推進ポリシー 令和4年度 進捗報告資料

「みやぎ情報化推進ポリシー」体系イメージ

R4ポリシー 関連事業

事業数 159件
決算額 65.8億円



重点目標① 「最適化による県民サービスの向上」 取組状況

ポリシー行動指針	関連KPI	R4年度の主要取組
- 行政手続のオンライン化 - キャッシュレス化 - オープンデータ化	R4末までの 達成率 ←実績344→ 63% オープンデータ 公開データセット数 ←目標-(R6)-550→ R4→ 9	- 土木事務所等でのインターネット予約システム本格導入 - 県と市町村の共同オープンデータポータルサイト運用開始 (R4.10月) - 県税納付スマートフォン決済アプリ追加 (4→7種類) 【決済アプリ】  ←R4追加→
- 携帯電話の不感地域解消 - 無料公衆無線LANの環境整備 - デジタルデバйд対策の推進		- 携帯電話の不感地域の調査 (県内不感地域 8→6市町) - みやぎFree Wi-Fi増設 (新設:県税事務所3か所) - 高齢者向けスマホ教室、オンラインセミナー開催 (スマホ教室72名、セミナー223名参加)
マイナンバーカードの普及促進	県内カード交付率 R4.3月末 42.4% → R5.3月末 65.7%	- カードの申請サポート事業 (事業利用者数7,713人) - デジタル身分証アプリによる原子力災害避難支援 
観光・防災・生涯学習など積極的な情報発信		- 県立美術館等収蔵品のレプリカ作成 - AIマッチングによる結婚支援 (成婚55組)
- ICTを活用した教育環境の整備 - 教育の情報化推進	ICT活用指導力の高い教員の割合 R2 66.5% → R3 70.1% ※R4実績は翌年10月頃確定	- ICT活用「個別最適な学び」モデル事業 (大崎市古川一小、気仙沼市津谷中) - 県立高校へのタブレット等ICT機器の整備 

重点目標② 「地域の課題解決と活力の創出」 取組状況

ポリシー行動指針		関連KPI	R4年度の主要取組	
● デジタル技術の導入による 県内産業の生産性向上 イノベーションの創出	R3 約15万件	宮城旬鮮探訪 アクセス数 R4 約61万件/20万件 → 達成率305%	● 県産品ポータルサイト「宮城旬鮮探訪」の運用 ● 「みやぎ認定 I T 商品」の認定 (R4認定 1 商品)	みやぎ認定 IT 商品 松島の混雑状況 (ミヤギタビマップ)
● デジタル技術の導入による 地域の課題解決			● AIカメラ・センサーによる観光地の混雑状況可視化 ● キャッシュレス決済におけるポイント還元事業 ● みやぎハッカソン2023の開催	
● A I ・ I o T 導入支援 先進モデル創出延べ件数 (AI・IoT実証事業実施数)	R4末までの 達成率 ←実績9件→ 53%	R4→ 1 ←目標→(R6)→17件→	● 先進的技術活用による新たなビジネスモデル の企画・実証経費の補助 (1件) ● AI・IoT等先進技術を活用した 生産性向上への取組経費の補助 (6件)	みやぎハッカソン2023 (R5 3/2-4)
● 中小事業者や地域の デジタル化支援 情報通信関連企業の 県内立地延べ件数	R4末までの 達成率 ←実績43件→ 75%	R4→ 8 ←目標→(R6)→57件→	● 情報通信関連企業立地促進奨励金 交付対象事業所の指定 (8社) ● デジタル化導入補助金の交付 (62件) ● デジタル化アドバイザーの企業派遣 (97件)	みやぎハッカソン2023 表彰式
● 農林水産分野への 新技術導入 農山漁村DX地域戦略 計画策定地区延べ件数	R4末までの 達成率 ←実績3件→ 50%	R4→ 1 ←目標→(R6)→6件→	● 農山漁村DX地域戦略計画の 策定支援 (大郷町) ● RTK基地局の設置 (県内7か所) ● AI自動魚種選別機に係る 実証試験実施 (女川魚市場) ● 林業事業者へのICT活用研修実施	トラクターの自動操縦 (みやぎスマート農業体験試乗会)

重点目標③ 「デジタル化による働き方改革の推進」 取組状況

ポリシー行動指針		関連KPI	R4年度の主要取組		
● Web会議の推進 ● テレワークの推進		モバイルワーク 実施回数 R4 256回 / 300回 ※R4年度から 本格導入 達成率85%	● Web会議システムの整備・運用 (職員PCにおけるWeb会議アプリ利用開始) ● テレビ会議対応PCの整備・運用 (県警) (端末数 1851台→2603台) ● 在宅勤務・モバイルワーク等の推進 (在宅勤務実績 2037人日→2207人日／年) ● テレワーク用PC端末の整備 (R3導入端末80台VDI化→対応端末 計200台)		 Web会議用端末
● 押印手続きの見直し ● ペーパーレスの推進 ● 電子決裁の推進		ペーパーレス会議 実施回数 R4 354回 / 960回 R3 175回 → 達成率36% 電子決裁率 R4 69.3% R3 59.6% →	● 押印手続き見直しの推進 ● ペーパーレス会議の推進 (紙削減数 約42万ページ) ● 新総合文書システムの運用 ● 高速スキャナーによる紙文書の電子化 (電子化枚数 約28.6万ページ)		 高速スキャナー
● AIやRPAなどの活用による事務作業の省力化・効率化		議事録作成の削減時間 R4 8,179時間 / 5,700時間 R3 6,624 → 達成率143%	● 議事録作成支援システムの運用 ● ノーコードツールの導入検討 ● 航空機騒音監視システムの構築 ● 電子カルテの導入 (子ども総合センター附属診療所)		 ペーパーレス会議の様子

「目標達成の基盤となる取組」取組状況

取組	ポリシー行動指針	R4年度の主要取組
市町村の情報化への支援	● 事例紹介・情報提供等	● DX全体方針策定支援（13市町村） ● DX推進セミナー（実施3回）
	● デジタル・ガバメント推進支援	● オープンデータの推進（全35市町村公開済） ● 電子申請システムの共同運用（県＋25市町） ● 窓口オンラインサービス支援（研修会・出張相談・標準様式の提供等） ● AI・RPA導入共同実証（5市町対象）
	● 情報通信基盤の利活用支援	● 自治体クラウド導入支援（勉強会等開催9回） ● 「みやぎハイパーウェブ」の運用
	● 職員のICTスキル向上支援	● アドバイザー派遣による相談支援（実施4回）
県行政の情報化の基盤整備	● 情報システムの最適化	● 基幹システムの再構築・本稼働 （財務・物品・旅費システム、庶務業務支援システム：R5.1月～稼働） ● 「県情報システム調達ガイドライン」に基づく協議・検証等 （事業構想58件・予算要求51件・予算執行90件・検証31件） ● システム調達・運用研修（受講者121人）
	● サイバーセキュリティ・ 個人情報の適正な取扱い確保	● 自治体情報セキュリティクラウドの運用（東北6県＋新潟） ● セキュリティ監査（内部監査21所属／β'モデル自治体外部監査開始） ● 情報セキュリティセルフチェック（12,240人/実施率97.4%） ● 標的型メール攻撃訓練（215所属） ● 情報セキュリティ研修（新採職員225人・セキュリティ管理者担当者等239名）
	● 庁内の人材育成	● 「宮城県職員DX人材育成プラン」策定／DX推進職員研修（114人） ● DX推進研修（階層別研修510人）、eラーニング研修（2,038人）